

- 上部工の横移動・座屈、支承・伸縮装置破損、下部工のひび割れ、周辺地盤の崩壊等の損傷が生じています。
- 対策は、上部工の架替え、橋台の再構築、橋脚の増厚・増し杭補強、支承・伸縮装置の交換等を行います。

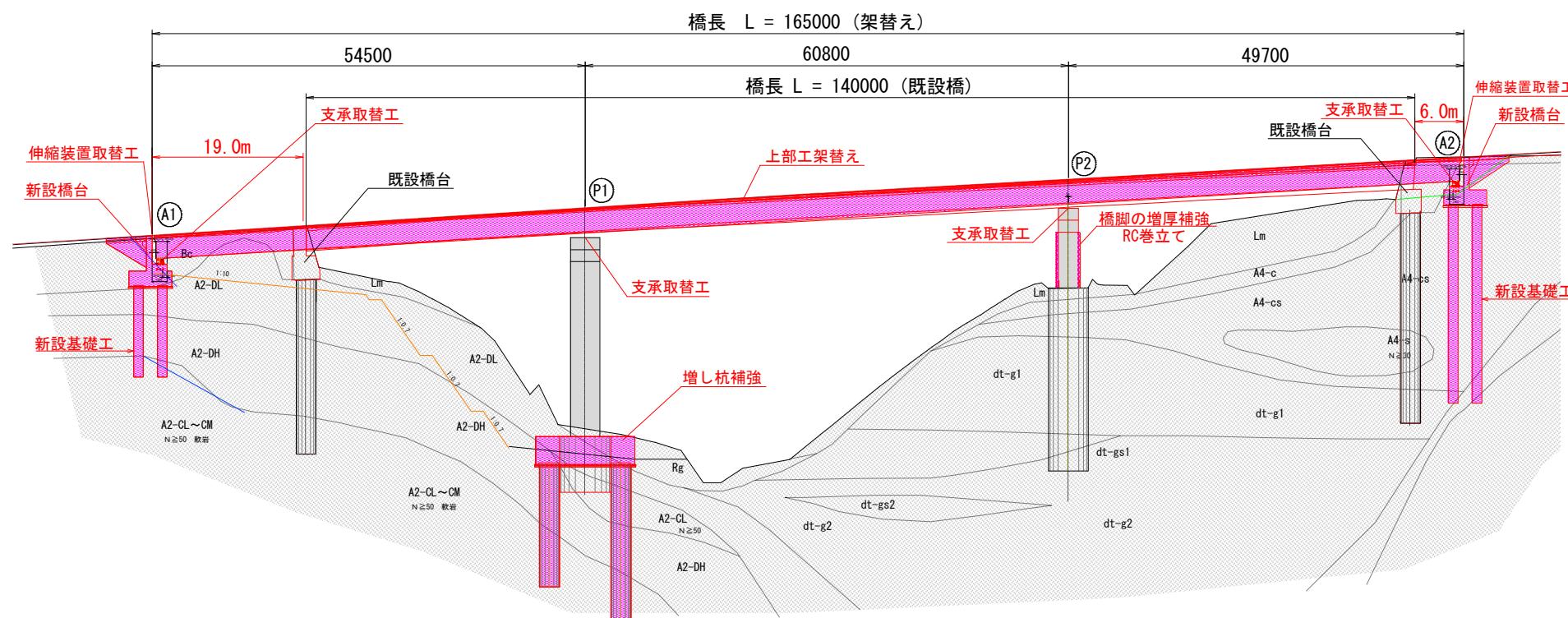
(鋼3径間連続非合成鈹桁橋 H13年架設、橋長:140m→架替え後165.0 m)



①上部工の横移動



②上部工の座屈



橋台は前面の不安定地盤を回避した位置に再構築し、橋脚は増し杭及び増厚による補強を行います。上部工は橋長を延伸し、架替えを行います。



③支承の破損



④躯体のひびわれ、深礎杭の露出



⑤A1周辺地盤の崩壊

仮橋(終点側)の構築

